



# 議会だより

## 第2回定例会

議会の情報は下関市の  
ホームページから

<http://www.city.shimonoseki.lg.jp/>

6月10日から24日までを会期として開催された第2回定例会に提案された補正予算議案について、委員会での審査内容などを紹介します。「議会だより」代表質問特集を16頁、17頁（中央部）に差し込む形で掲載しておりますので併せてご覧ください。

問：委員（議員）からの質疑など  
答：市役所執行部からの答弁など

### ○議案第80号「平成25年度下関市 一般会計補正予算（第1回）」

#### ◎総務費

#### ▼下関市公営施設管理公社経営改 革推進業務

問 下関市公営施設管理公社（以下「管理公社」）の改革プランが昨年度策定されているが、それに基づいて、これから具体的な計画を

コンサルタントが策定し、指導も行いながら今後の改革につなげていこうという考えなのか。

答 管理公社が自ら考えた計画で、自ら改革してもらう。コンサルタントは、それを考えるよう指導していく。作ったものを管理公社が実行するのではなく、自ら作って自ら改革していくことを基本に考えている。

問 管理公社は100%市の出資であ

り、営利を目的とせず、これまで果たしてきた重要な役割があるが、コンサルタントが入るにしても、そういうことを踏まえた指導がされるのか。

答 管理公社は、もともと観光施設を管理するということとでスタートしたが、市の施設が完成するたびにサービスの質が違うところも受託してきており、現在の指定管理者制度の中では、なかなか生き残りづらいということがある。管理公社の得意な事業分野と、やっていける分野とを、委員の指摘通りしっかり考えた上で、やっていける分野で生き残り策を図り努力していただくことになろうと認識している。

#### ▼公共施設マネジメント推進業務

問 どんな内容なのか。

答 建物を対象に管理していこうというもので、インフラと呼ばれる道路、橋梁、上下水道などの管渠などは、現在は対象から外すことを考えている。一般的にどのよう施設を管理運営していくか、あるいは長寿命化をしていくか、その前提となるデータ、方針を決めていくものである。

問 市としては公共施設が多いと

の判断のもと、取捨選択をやっていききたいというのが目標なのか。  
答 その通りである。本市の1人

当たりの公共施設の面積は、他市と比較して非常に大きい。

このままの面積を維持管理するのは、財政的負担という観点から考えて、総量縮減というのもある程度は考えざるを得ない場合も出てくると思う。建て替える場合にも、複合化するなどの手法がある。その辺の在り方を、データを基に検討していくというのが、この公共施設マネジメントの取り組みである。

#### ◎衛生費

#### ▼菜の花プロジェクト 推進業務

問 将来的な形として、事業化などの構想があるのか。

答 まだ具体的な構想は描いていないが、事業化できれば理想的ではあると考えている。しかし、現状では、まだどの程度の菜の花が咲いて、種が採れ、油が採れるのか、採れた油の品質がどうであるのかなど、知見や基礎的なデータが全くないため、基本的なデータの収集から行っていきたい。

【意見】本プロジェクトを子どもたちの活動にとどめるのか、あるいは事業化を目指すのかによって打つ手も変わってくると思う。せ



第二十五利丸

つかく取り組むプロジェクトであるので、一過性に終わるのではなく、何らかの形で継承されるような方向で進めてほしい。

#### ◎農林水産業費

#### ▼第二十五利丸の保全計画策定

問 市民から第二十五利丸はあるかばーとに陸揚げ展示すべきとの意見をよく聞く。市長は鯨に大変力をいれているが、市の考えはどうか。

答 第二十五利丸を陸上に揚げるとなると、その費用だけで2億数千万円の経費がかかると推測され



る。今回補正予算に計上している第二十五利丸保全計画策定業務では、船体を陸揚げ展示する方法、部品のみをモニユメントとして展示する方法などの4案についてそれぞれの経費とイメージ図を作成、これらを市民に示して、意見をいただきたい上で、今後の活用方針を決定したい。

◎土木費

▼唐戸地区市街地再開発基本計画

問 計画を策定する唐戸区域の範囲、またカラトコアやカラトピアなどの既存事業との関連は。

答 この計画の範囲については、当初計画の範囲を含め、カラトピ

アから唐戸ドームの先のアカマブラザ辺りまでを考えている。既存事業で出来上がった2つの施設は計画を策定する地区の中含まれており、この地区内における再開発の方向性や要望などの調査は行うが、この施設自体に手を加えることは困難であると考えている。

◎教育費

▼下関球場改修基本設計

問 具体的な内容と、施設に対する利用者からの要望などについて。

答 指定管理を行っている関係で市が利用者の声を直接耳にする機会が少ないが、ブルペンの天井が低い、控室、トイレ、シャワーなどの水回りが使いづらいとの声が一番多いようである。今回の改修は、まずブルペンを移設、そのスペースを有効活用し、控室、シャワー室、トイレなどのバックヤードの配置についても全般的に見直したいと考えている。

▼幼稚園耐震化業務

問 第三幼稚園と生野幼稚園の2園が耐震診断をしない理由は。

答 募集停止の可能性があるので、今年度については見合わせている。問 本庁地区の幼保一体化施設がいつ完成するかも分からないが、一方では南海トラフ地震がいつ起

きるかも分からない。園児の施設の安全安心は、行政の責任として保っていたきたいが。

答 他の耐震診断がなされていない園も含め、園が存続する限りは、耐震二次診断まではやりたいと考えている。

問 幼・小・中学校の非構造部材の調査は実施するのか。また、いつ完了するのか。

答 今年度中に実施し、完了する予定である。

○議案83号「平成25年度下関市土地取得特別会計補正予算(第1回)」

本案は平成22年度に「史跡長州藩下関前田台場跡」として、国の史跡に指定された前田砲台跡について、史跡の確実な保存と将来の整備活用を目的として、中国電力が所有する約5527平方メートルの土

地を本会計により先行取得しようとするものです。

問 当該地取得に係る経費の算出根拠は。

答 不動産鑑定士2者から、これらの土地の平成23年3月時点の不動産鑑定評価をいただいた。平らで広い土地があり、眺望に優れているなどの個別的な要因と、不動産鑑定士からいただいた評価、それから地価公示価格からみた評価を踏まえて算出した数字である。

問 先行取得に係る財源は市債を充て、10年かけて特別会計から一般会計に買戻すとのことであるが、国からの補助はあるのか。

答 国庫補助8割、県補助1割、市の負担1割という形で買戻すこととなり、国庫補助、県補助ともに利子を含め限度額までいただく形になっている。

【意見】 大事な税金を使い購入するので、将来的に市民に役立つよ

うな保存方法をしっかり検討してほしい。

○審査結果

第2回定例会では、これらの議案を含め31件が提案され、一部反対があった議案もありましたが、いずれも原案のとおり可決(または同意)されました。

各議案に対する議員個別の賛否については市のホームページをご覧ください。



第3回定例会(9月)

9月定例会が予定されましたのでお知らせします。 ※今後、変更の場合があります

日	曜日	会議など
2	月	本会議(提案説明など)
3	火	常任委員会
4	水	常任委員会
5	木	常任委員会
6	金	常任委員会
7・8日		休会
9	月	決算審査特別委員会
10	火	決算審査特別委員会
11	水	決算審査特別委員会
12	木	休会(整理日)
13	金	休会(整理日)
14~16日		休会
17	火	休会(整理日)
18	水	本会議(一般質問)
19	木	本会議(一般質問)
20	金	本会議(一般質問)
21~23日		休会
24	火	本会議(一般質問)
25	水	本会議(一般質問)
26	木	本会議(表決など)

※一般・特別会計を対象に決算審査を行います。なお、企業会計の決算審査は所管の常任委員会で行います